

2012-B					
拠出金・基金の 名称:		アジアにおける3Rの戦略的実施支援事業拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名:国際連合地域開発センター(UNCRD)					
【所管官庁担当局課・室名】:大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部 循環型社会推進室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 当該拠出により、主に以下の取り組みを通じて、日本が推進する政策である3R(リデュース, リユース, リサイクル)の普及を目指す。 －アジア3R推進フォーラム開催 －3R国家戦略策定支援 －3R現地研修・ワークショップ開催 －アジア3Rイニシアティブ広報活動					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成24年度	21,870	－	－	円建て	100
平成23年度	24,030	－	－	円建て	100
平成22年度	25,380	－	－	円建て	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 ・日本に本部を置いている国際機関であるUNCRDに対する拠出は、日本が高い専門性を持つ分野である環境、防災等に関する日本の経験から編み出された優れた政策を国連の権威を通じて世界に普及させることにより、我が国が重視する価値を国際社会において広く普遍化することに資するものであり、当該拠出の必要性は高い。 ・UNCRDに対するイヤーマーク拠出金(3R)の主な効果は以下のとおりである。我が国は、同拠出金の費用対効果が高いと評価している。 2009年、UNCRDは東京3R宣言を策定し、15ヶ国の参加によりアジア3R推進フォーラムが設立された。2013年(2012年度)のハノイ3R宣言には30ヶ国が参加し、フォーラムの対象地域はアジア太平洋に拡大。この宣言はアジア太平洋地域における3R推進のための今後10年間の政策目標、具体的には33項目の目標を定めて各目標の達成状況をモニターするための指標をまとめたものである。2009年、2010年、ベトナム及びバングラデシュにおいて、「3R国家戦略」が本国政府により正式に承認を受け、国の諸課題の中に3Rが盛り込まれる土台が作られた。フォーラム、国家戦略、現地研修・ワークショップ等の活動を通して、アジア太平洋地域における3Rの普及と推進に貢献している。また、3Rは、国連持続可能な開発委員会(CSD)第18会期議長サマリー(2010年)に明記され、2012年6月のリオ＋20では成果文書「私たちが望む未来」に3Rの概念がその言葉とともに反映されている。					